

このたびは当社製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご利用ください。

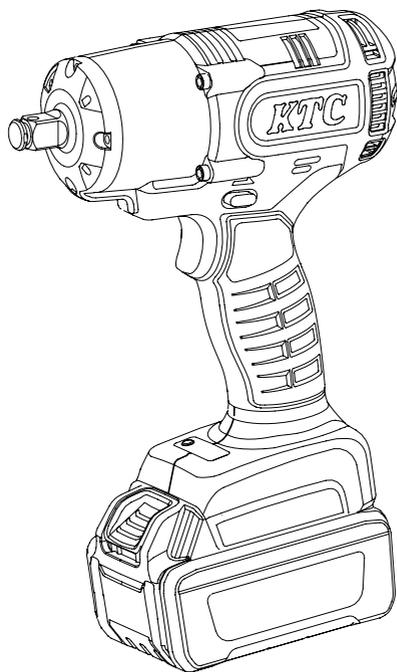
KTC

12.7sq.ホイールナット専用
コードレストルクリミットインパクトレンチセット

No.JTAE475

取扱説明書

業務用



梱包内容をご確認いただき、不足、破損のある場合は、お求めの販売店までお申し出ください。

- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この取扱説明書を必ず添付してください。
- この取扱説明書は、必要なときにすぐ読めるように、大切に保管してください。

もくじ

シグナルワードについて	3
安全上のご注意	3
使用用途	5
梱包内容	5
お使いになる前に	5
製品仕様	
■インパクトレンチ本体	6
■バッテリーパック	7
■充電器	7
使用方法	
■バッテリーパックの取り付け、取り外し	8
■バッテリーパックの充電	
○充電する	9
○充電器ランプとラベル	10
○バッテリーインジケータの見かた	10
■バッテリーパックについて	
○長くお使いいただくために	11
○長時間ご使用にならないとき	11
○バッテリーパックの寿命	11
■インパクトレンチの使用方法	
○トリガースイッチのロック	12
○回転方向の切替	12
○トリガースイッチの操作	12
○モードの切替	13
○モードの見かた	13
○先端工具を取り付ける	14
保管方法とメンテナンス	
■作業が終わったら	16
■メンテナンス	16
製品の廃棄・リサイクルについて	17
故障かな?と思ったら	18

シグナルワードについて

この取扱説明書には以下のシグナルワードとその他標記記号を使用しています。



警告

誤った取扱いをした場合、死亡または重傷を負うおそれがあります。



注意

誤った取扱いをした場合、負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。



禁止行為を表します。



必ずしてほしい行為を表します。



確認してほしい行為を表します。

当社製品に共通する安全上のご注意



警告

死亡または重傷を負うおそれがあります。

- ⊘ 製品本来の使用用途以外には使用しない
- ⊘ 分解および改造しない
- ⊘ 外觀上の異常や動作異常が認められた場合は使用しない
- ⊘ 無理な姿勢で使用しない
- ⊘ 安全に責任を負う監督者がいない状況で、子供など補助を必要とする人を作業場に近づけない
- ⊘ 子供の手の触れるところで保管しない
- ⓘ 使用時は保護メガネ、安全帽、安全靴等作業に適した服装を着用する
- ⓘ 保守点検を必ず行う

本製品に共通する安全上のご注意



警告

死亡または重傷を負うおそれがあります。

標記記号	事項	危害・損害
⊘	可燃性ガスや液体、粉塵のある場所で使用しない。	爆発や火災による死亡や重傷の原因となる。
⊘	密閉された空間で使用しない。	発煙、発火、破裂のおそれがある。
⊘	製品を火中に投入しない。	
⊘	充電時間が極端に短くなったバッテリーパックは使用しない。	
⊘	3秒以上回転させてもねじが緩まない場合は使用を中止する。	
⊘	雨中や湿気が多い場所で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
⊘	濡れた手で使用しない。	
⊘	水の中に落としたり、水の中に放置したりしない。	
⊘	本体およびバッテリーパックの端子部にキズや異物が付かないようにする。	
ⓘ	油やグリース、化学薬品、海水、水分が付いた状態で使用、放置しない。	
ⓘ	本製品を清潔に保ち、清潔な状態で使用および保管する。	
ⓘ	本体およびバッテリーパックに衝撃を加えない。外装が損傷していても内部が損傷している可能性がある。	

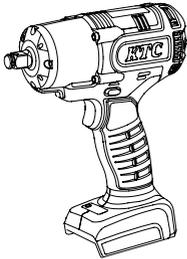
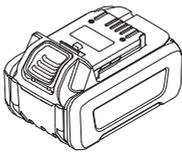
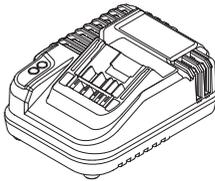
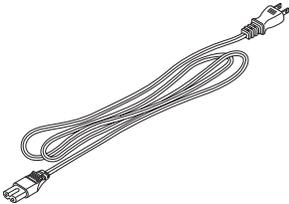
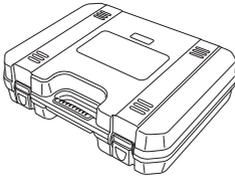
 警告 死亡または重傷を負うおそれがあります。		
標記記号	事項	危害・損害
⊘	バッテリーパックが液漏れしたり異臭がするときは使用を中止する。	発熱、破裂などのおそれがある。 万が一、電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流す。
⊘	専用バッテリーパック、充電器以外は使用しない。	

 注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。		
標記記号	事項	危害・損害
⊘	充電中に過熱したバッテリーパックは充電器から取り外し、自然に冷ましてから使用する。	負傷や破損、器物損傷のおそれがある。
⊘	軍手やネクタイ、スカーフなどの巻き込みのおそれがあるものは着用しない。	
⊘	空回転させない。	
⊘	本体から出る空気に触れない。	
⊘	回転する先端に顔や手を近づけない。	
⊘	直流電源やエンジン発電機に充電器を接続しない。	
⊘	充電器の電源コードを持って運ばない。	
⊘	本体を持って移動するときは、必ずバッテリーパックを取り外し、トリガースイッチに指をかけない。	
⊘	バッテリーパックおよび先端工具の着脱時は、回転方向切替スイッチをロック位置にし、トリガースイッチに指をかけない。	
⊘	充電中に布や可燃物で覆わない。	
⊘	温度が0℃未満、または50℃以上の環境で使用、充電および保管を行わない。	
❗	先端工具は、取扱説明書に従い確実に取り付ける。	
❗	充電中はバッテリーパックを放置せず、充電が完了したら直ちに取り外す。	
❗	作業場所は清潔に保ち、暗い場所で作業を行わない。	
❗	使用時は本体を確実に保持する。	
❗	長時間使用しない。使用後は必ず運転を停止し、一定時間休止する。	
❗	充電器の電源コードは定期的に点検する。 電源コードに異常が見られる場合は、使用を中止する。	
❗	点検および保管時は、バッテリーパックを本体から取り外す。	
❗	本製品で仮締め後は、必ずトルクレンチで本締める。	

使用用途

本製品は、自動車のホイールナットを緩めたり仮締めしたりすることを目的とする、トルクリミット機能付きの電動コードレスインパクトレンチです。その他の目的には、使用しないでください。

梱包内容

本体	バッテリーパック	充電器
		
充電器用電源コード	専用ケース	取扱説明書
		

お使いになる前に

○バッテリーパックの充電

ご購入時にバッテリーパックは充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。



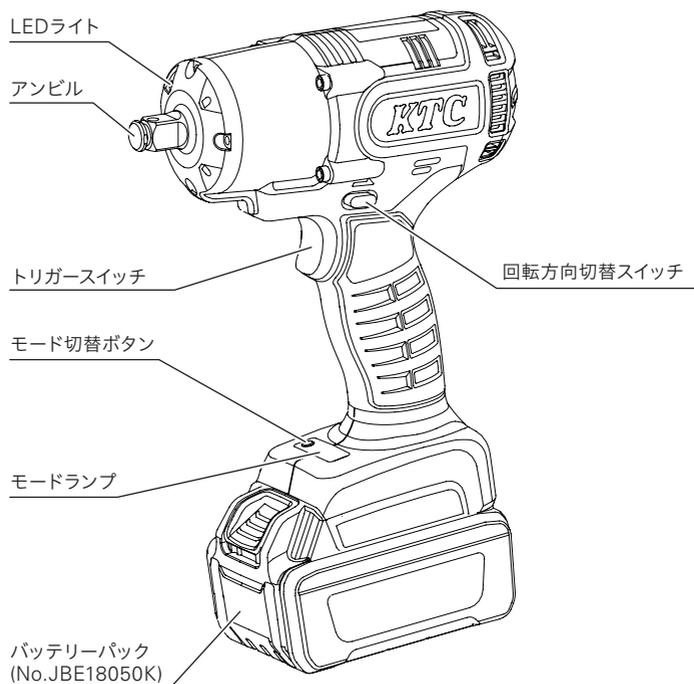
- ・充電は0～50°Cの場所で行う。
- ・バッテリーパックの温度が0°C以下、または充電器が置かれている環境と大きく温度差がある場合は、所定の温度で1時間以上静置してから充電する。
- ・バッテリーパックを2個以上連続で充電する場合は、充電器が冷めるまで30分以上充電を休止させる。



- ・バッテリーパックは付属の充電器以外で充電しない。
- ・他社のバッテリーパックを充電しない。

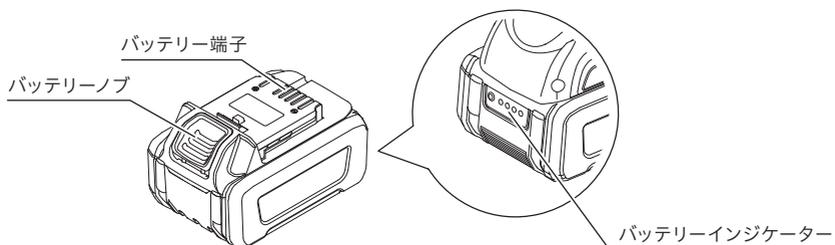
製品仕様

■インパクトレンチ本体 No.JAE475



方 式	電動コードレスインパクトレンチ	
入 力 電 圧	18V DC	
適 用 ボ ル ト	自動車用ホイールナット M10～M14 (六角ボルト M6～M16)	
ト ル ク	最 大	600N・m
	実 用	400N・m
無 負 荷 回 転 数	0～1,900 rpm	
ド ラ イ ブ 角	12.7sq.	
寸 法 (長 さ × 幅 × 高 さ)	182 × 78 × 271 mm (バッテリーパック装着時)	
質 量	2.6 kg (バッテリーパック装着時)	

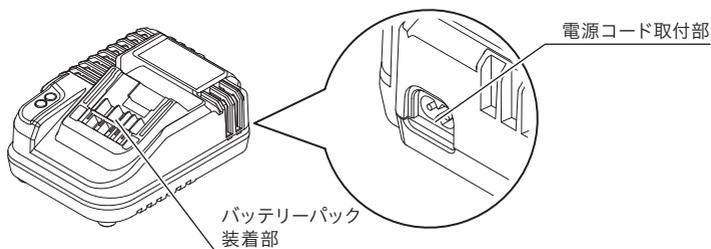
■ バッテリーパック No.JBE18050K



充 電 池	リチウムイオン電池
公 称 電 圧 ・ 容 量	18V DC 5,000mAh
充 電 時 間	135 分 ※
質 量	0.8 kg
充 電 器	JHE180K (専用充電器)

※バッテリーパックの状態や充電されている環境により変化します。

■ 充電器 No.JHE180K



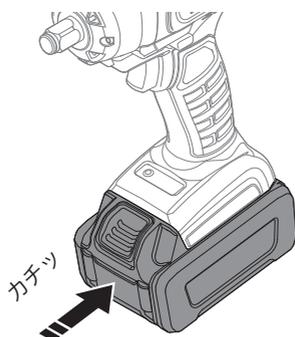
入 力 電 圧	AC 100～240V
入 力 周 波 数	単相交流 50/60Hz 共用
出 力 電 圧	10.8V 14.4V 18V DC
出 力 電 流	3A(10.8V 14.4V) 2.3A(18V)
質 量	0.5 kg (電源コード込み)

使用方法

■バッテリーパックの取り付け、取り外し

○バッテリーパックの取り付け

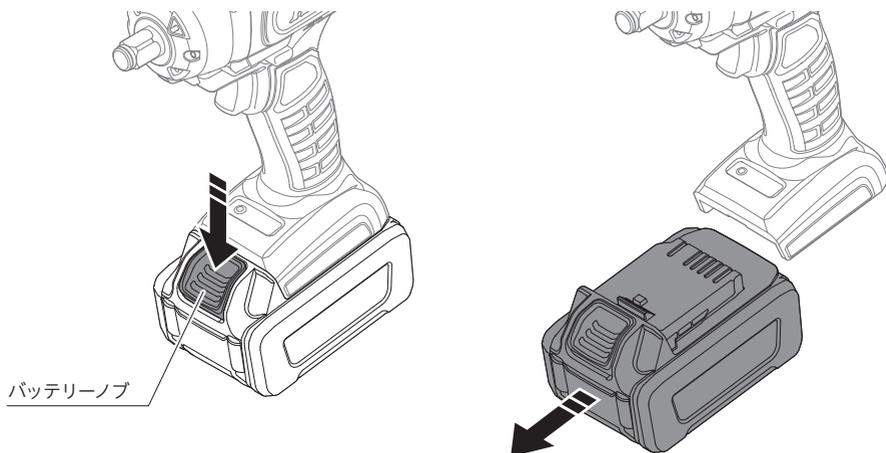
- ①回転方向切替スイッチを中央で止め、トリガースイッチをロックする。
- ②バッテリーパックを本体に取り付ける。
- ③バッテリーノブのロックがかかったことを確認する。(カチッと音がする)



- ・本体の端子部に異物がないことを確認する。
- ・バッテリーパックがスムーズに装着できない場合は装着を中止し、購入した販売店に修理を依頼する。

○バッテリーパックの取り外し

バッテリーノブを押しながら、バッテリーパックを前方に引き出す。



■ バッテリーパックの充電

○ 充電する

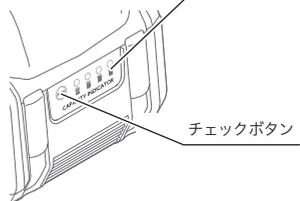
- ① バッテリーが満充電(4つ点灯)ではないことを確認する。

「バッテリーインジケーターの見かた」参照。



・満充電時は充電しない。

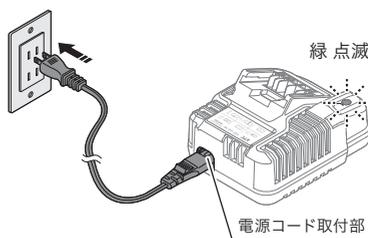
バッテリー
インジケーター



- ② 充電器の電源コード取付部に電源コードのコネクタ、コンセントに電源プラグを差し込む。

充電器の緑色LEDが点滅する。

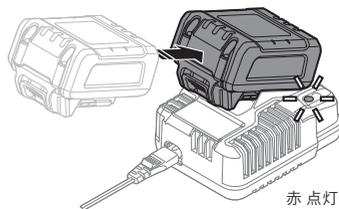
緑点滅



- ③ バッテリーパックおよび充電器の端子部に異物がないことを確認し、充電器のバッテリーパック装着部にバッテリーパックを差し込む。

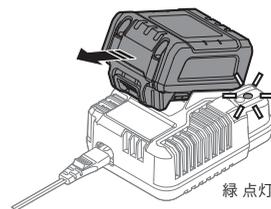
充電器の赤色LEDが点灯する。

赤点灯

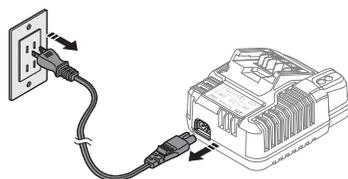


- ④ 充電器の充電が完了し、緑色LEDが点灯したら、充電器からバッテリーパックを引き抜く。

緑点灯

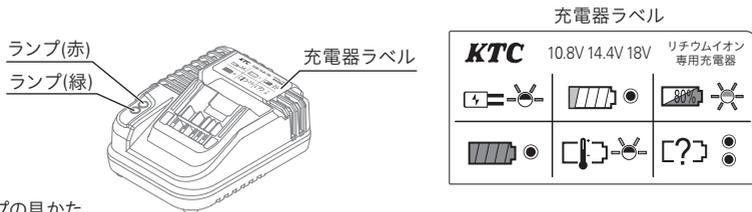


- ⑤ 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から電源コードを取り外す。
充電器本体が熱くないことを確認し、専用ケースに入れ保管する。



○充電器ランプとラベル

通電時は、次の表の方法で状態を示します。



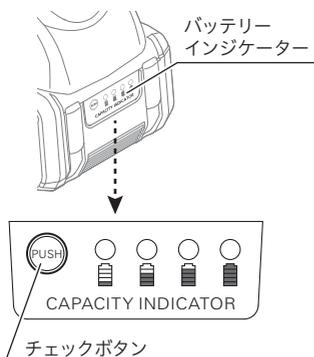
充電器ランプの見かた



ランプ		ラベル	内 容	充電器およびバッテリーパックの状態
緑	赤			
●●			通電中 (スタンバイ)	充電可能です。
	■		充電中	正常に充電中です。
●●●			80%充電完了	正常に充電中です。
	■		充電完了	正常に充電が完了しました。
	●●		バッテリーパック 温度異常	バッテリーパックの温度が異常です。 適正な温度になってから充電してください。
	■		バッテリーパック 不明	バッテリーパックの故障か、 正規のバッテリーではありません。

○バッテリーインジケータの見かた

チェックボタンを押すことで、その時点のバッテリーの状態を表示します。



点灯パターン	バッテリーパックの状態
	要充電/バッテリー残量が24%以下です。
	バッテリー残量が25%~49%です。
	バッテリー残量が50%~75%です。
	満充電/バッテリー残量が76%以上です。
	すべて点滅している。 バッテリーパックが高温になり保護機能が働いている。使用を中断してください。

■バッテリーパックについて

○長くお使いいただくために

- ・バッテリーパックを使用しないときは、ホコリが付かない場所で保管してください。
- ・短絡させないように保管してください。

○長時間ご使用にならないとき

- ・バッテリーパックを 80% 程度充電した状態で、保管してください。
- ・保管中も6カ月に1回程度、バッテリーパックを充電してください。

○バッテリーパックの寿命

- ・満充電しても、ご購入時と比較して半分程度の作業しかできなくなったときは、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックをお買い求めください。バッテリーパックは、消耗品扱いとなります。

(「製品の廃棄・リサイクルについて」参照。)

■インパクトレンチの使用方法

○トリガースイッチのロック

回転方向切替スイッチを中央で止めることでトリガースイッチがロックされます。



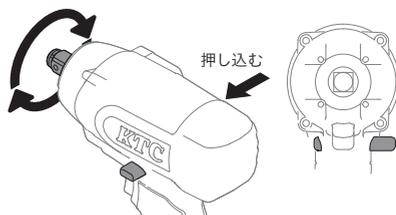
○回転方向の切替



・アンビルが完全に停止していることを確認してから操作する。

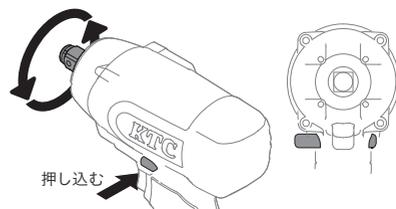
時計回り（右回り）

回転方向切替スイッチを左側へと押し込むことで、アンビルが時計回りに切り替わります。



反時計回り（左回り）

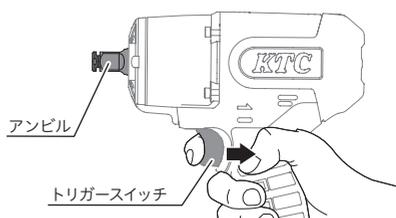
回転方向切替スイッチを右側へと押し込むことで、アンビルが反時計回りに切り替わります。



・3秒以上回転させてもホイールナットが緩まない場合は使用を中止する。
ホイールナットが過大なトルクで締め付けられている恐れがあり、本体故障の原因になる。

○トリガースイッチの操作

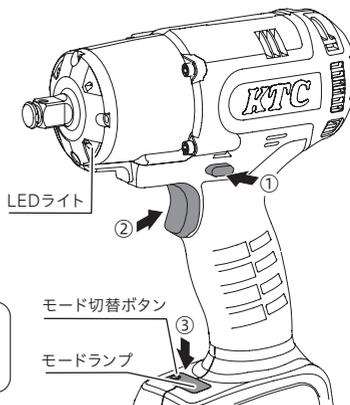
回転方向切替スイッチが時計回りまたは反時計回り位置にあるとき、トリガースイッチを引くことでアンビルが回転します。



○モードの切替

本製品にはフルパワーモードと4段階の仮締めモードが設定されています。仮締めモードの締付けトルク値はあくまで参考値です。本締め時は必ずトルクレンチ(別売り)を使用してください。

- ①回転方向切替スイッチを時計回りまたは反時計回り位置にセットする。
- ②トリガースイッチを軽く引く。
(本体の電源が入り、モードランプとLEDライトが点灯する。)
- ③モード切替ボタンを押し、任意のモードに切り替える。
(5秒以上操作がない場合は自動的にモードランプとLEDライトは消灯する。)



・本体のLEDライトは補助用です。照明として使用せず、必ず明るい場所で作業する。



・モードのトルク値の上限に達すると、トルクリミットが作動し停止する。停止直後はトリガースイッチを引いてもアンビルは回転しない。

○モードの見かた

モード名	モードランプ	締付けトルク値
仮締めモード1	■□□□□	75 N・m 以下
仮締めモード2	■■□□□	100 N・m 以下
仮締めモード3	■■■□□	120 N・m 以下
仮締めモード4	■■■■□	140 N・m 以下
フルパワーモード	■■■■■	400 N・m 以上



・仮締めモードで同じボルトを何度も締め付けない。



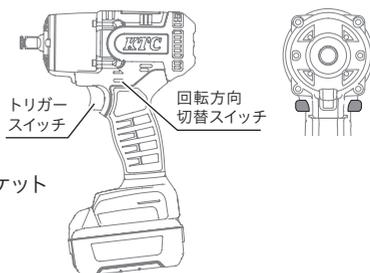
・仮締めモードでホイールナットを締め付けた後は、必ずトルクレンチ(別売り)を使用し規定のトルク値で本締めする。

○先端工具を取り付ける

- ①回転方向切替スイッチを中央で止め、トリガースイッチを引いてもアンビルが回転しないことを確認する。

- ②先端工具を取り付ける。

ホイールナットのサイズにあった、インパクトレンチ用ソケット
またはインパクトレンチ用ホイールナットソケットを選ぶ。



普通乗用車のホイールナット脱着推奨先端工具

品名	品番
12.7sq. インパクトレンチ用ソケット	BP4M-17TP, 19TP, 21TP, 22TP
12.7sq. インパクトレンチ用ホイールナットソケット	BP49-17, 19, 21, 22
12.7sq. インパクトレンチ用ホイールガードソケット	BP49-17G, 19G, 21G, 22G
12.7sq. インパクトレンチ用アルミホイール化粧ナットソケット	ABP4-17ALP, 19ALP, 21ALP

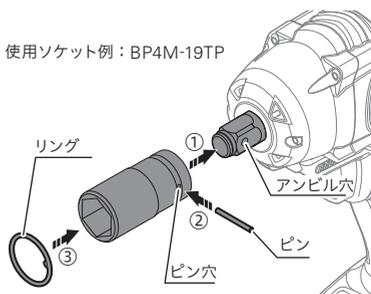
ピン・リングを使用する場合

- ①ソケットのピン穴とアンビル穴の位置を合わせて取り付ける。
- ②ピンを挿入する。
- ③リング内側の突起をピン穴に入れるように取り付け、ピン抜けを防止する。



・ピンが飛び出さないようにリングを装着しているか確認する。

使用ソケット例：BP4M-19TP



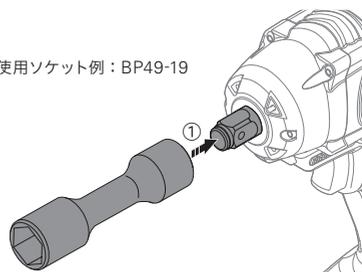
ピン・リングを使用しない場合

- ①アンビルにソケットを取り付ける。



・ソケットを正しく取り付けていることを確認する。

使用ソケット例：BP49-19

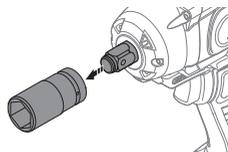


memo

保管方法とメンテナンス

■作業が終わったら

- ①回転方向切替スイッチを中央で止め、トリガースイッチをロックする。
- ②先端工具を取り外す。
- ③バッテリーパックを取り外す。
- ④バッテリーパックが熱くないことを確認し、専用ケースに入れ保管する。



- ・ゴミ、ホコリの多い場所・溶剤などの引火物のある場所では保管しない。
- ・子供の手が届く場所・自動車の車内・直射日光が当たる場所・多湿な場所では保管しない。

■メンテナンス

《汚れ》

本体、バッテリーパックおよび充電器が汚れた場合は、バッテリーパックを外した状態で、柔らかい布などを使用し拭き取る。



- ・濡れた布やシンナー、アルコール、ベンジンなど揮発性のもので拭かない。

《各部の点検》

バッテリーパックを外した状態で、各部のねじの緩み、充電器の電源コードなどの亀裂、破損などの異常がないか定期的に点検する。



- ・充電器は、必ずコンセントから電源プラグを抜いてメンテナンスを行う。
- ・端子部にゴミやホコリが付着している場合は、非金属製ブラシなどを使用して、端子部に無理な力がかからないように気を付けて取り除く。

製品の廃棄・リサイクルについて

本製品を廃棄するときは、廃棄する地域の自治体の条例に従い、適切に処理してください。

■ バッテリーパックのリサイクル

- ・本製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みのバッテリーパックは廃棄せず、リサイクル協力店までお持ちください。



・バッテリーパックを廃棄するときは、テープなどを使用し、短絡防止の措置をとる。



Li-ion

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点検をお願いします。

症状	考えられる原因	対処の方法
動作が途中で停止する。	本体が高温になり、保護機能が働いている。	作業を中断し、本体の温度が下がってから使用する。
	バッテリーパックが高温になり、保護機能が働いている。	作業を中断し、バッテリーパックの温度が下がってから使用する。
バッテリーパックの温度が異常。 バッテリーインジケーターがすべて点滅している。	バッテリーパックが高温になり、保護機能が働いている。	作業を中断し、バッテリーパックの温度が下がってから使用する。
動かない。または動いてもすぐ止まる (バッテリーインジケーターのLED1個が点滅する)。	バッテリーパックを充電していない。	充電する。
動かない。トリガースイッチを引いても操作できない。	回転方向切替スイッチが中央位置にある。	回転方向切替スイッチを時計回りまたは反時計回り位置にする。
	バッテリーパックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。 「保管方法とメンテナンス」参照。
	バッテリーパックが故障している。	新しいバッテリーパックに交換する。
締付トルクが弱い。または回転が遅い。	バッテリーパックの残量が少なくなった。	充電する。
	バッテリーパックを長期間放置していた。または購入したばかりである。	充電する。
	温度が低い場所 (0°C以下) で保管したバッテリーパックを使用した。	バッテリーパックの温度が、使用環境と同等になってから再度充電する。
	バッテリーパックが故障している。	新しいバッテリーパックに交換する。
トリガースイッチを離すと異音が生じて停止する。	ブレーキの動作音。	故障ではない。



・これらの対処方法を実施しても症状が改善されない場合は、直ちに使用を中止してください。

症状

コンセントに電源プラグを差し込んでも、充電器が通電中（スタンバイ）（緑色 LED の遅い点滅）にならない。

日常使用しているバッテリーパックを 1.5 時間以上充電しても、充電完了（緑色 LED 点灯）にならない。

長期間使用していなかったバッテリーパックを 4 時間以上充電しても、充電完了（緑色 LED 点灯）にならない。



・これらの症状が現れた場合は、直ちに使用を中止してください。

各部の点検で、症状の改善が見られない場合は、

本体・バッテリーパック・充電器 をセットで、

ご購入の販売店または KTC 取扱店に修理を依頼してください。

